

広報

3

2013/MARCH

No.96

しおばら



Shobara

SHOBARA The Public Information Magazine

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

懐かしの 竹でつぼう作り



2月23・24日、高野地域で農村民泊モニターツアーが実施され、7軒の農家が広島市内の小学生20人を受け入れました。(関連記事2～8ページ)

- 2 特集1 地域の魅力をカタチに
- 9 「道の駅たかの」の一部施設が先行オープン/
松江自動車道インターチェンジのご利用方法
- 10 松江自動車道経由の高速バスが運行開始
- 12 特集2 ご存知ですか?地域マネージャー
- 16 東日本大震災から2年
- 18 平成24年度地域審議会
- 19 森林の土地所有者は届け出を
- 20 母子健康手帳が変わります/シリーズ私にもできる獣害対策
- 21 平成25年度福祉タクシー券を交付/安心・安全な毎日のために
- 22 健康広場 23 市政トピックス
- 24 カメラレポート 28 お知らせ



(平成 25 年 1 月 5 日撮影)

Vol.40 毛無山で スノートレッキング



数年前から、スノーシューを履いて雪山を歩く「スノートレッキング」にはまっています。

この日は友人7人で、県民の森から比婆山連邦にある毛無山まで歩きました。まだ誰も歩いていないふわふわで真っ白な新雪の上を歩くとときの快感、山頂付近で出迎えてくれる樹氷の幻想的な景色は本当に最高です。澄み切った晴天の山頂からは大山がとてもきれいに見え、新年から幸先良いスタートが切れました。

スノートレッキング、おすすめですよ。

井村 光江(川北町)

応募方法

写真を通して庄原市の魅力を再発見するコーナーです。風景写真はもちろん人物写真でも結構です。あなたの好きな庄原市の風景を写真で紹介してください。また、この写真への思いや撮影エピソードなどを200字程度にまとめ、郵送またはメールでご応募ください。

応募先

〒727-8501

庄原市中本町一丁目10番1号

庄原市情報政策課広報聴係

☎0824-73-1159

メール

koho@city.shobara.hiroshima.jp

庄原産の食材を扱うお店を応援します！

休暇村吾妻山ロッジ

所 比和町森脇 423-1

☎ 0824-85-2331

営 9時～21時

休 冬期休館 12月1日～4月11日

HP <http://www.qkamura.or.jp/azuma/>

取り扱う市内産食材

米・野菜・山菜・キノコなど

登録
第18号店



★休暇村吾妻山ロッジの岩脇純さんに聞きました★

●なぜ、地産地消推進店に登録しようと思ったのですか？

お客さまからのリクエストもあり、平成24年4月から庄原産の食材を使った郷土料理「比和の晩ごはん」を始めました。そこへちょうど地産地消推進店の話があり、これは「庄原が美味しい！」ということを知ってもらうチャンスだと思いました。

吾妻山には県内だけでなく、全国からいろんなお客さんがいらしゃいます。料理を通じて庄原の魅力をもっと知ってもらい、また庄原に来ようと思ってもらいたい。それが吾妻山にも多くのお客さんが来てもらえることにつながると 생각합니다。

●お店(コーナー)の推進店としてのこだわりは？

地元の産物を使うことのメリットは、鮮度はもちろんのこと、旬を感じられること、食材が加工されていない状態で手に入りやすいこと、食材を知り尽くしている人材が近くにいることだと思います。

吾妻山ではなるべく地のままの食材を使い、庄原の野菜のことをよく知っている地元のお母さん方に調理してもらっています。

●皆さんへひと言

4月にはミズバショウ、5月には山桜が咲き、新緑がきれいです。日帰り宴会もできますので、ぜひ吾妻山へ遊びに来てください。



『庄原市地産地消推進店』に登録しませんか？ 市は随時、地産地消推進店を募集しています。

詳しくは、保健医療課健康推進係(☎0824-73-1255)まで。